

資料6 地域戦略の構成(素案)

1 はじめに

2 戦略策定の背景と目的

2.1 生物多様性とは

2.2 戦略策定の背景(世界・国レベル, 都・区レベル)

2.3 港区で生物多様性地域戦略を策定する意義(趣旨・必要性)

2.4 戦略の目的と視点

2.4.1 目的

2.4.2 視点

2.4.3 手法

- ・意見交換会、アンケート、PRイベント

3 戦略の基本的事項

3.1 区域

3.2 見直し期間

3.3 戦略の位置づけ

3.3.1 戦略の性格

3.4 報告書の構成

4 港区の生物多様性の現況と評価

4.1 生態系

4.1.1 基盤環境

- ・地形・水系
- ・土壌・地質
- ・気象

4.1.2 自然環境

- ・陸域環境(樹林, 草地, 市街地)
- ・水域環境(河川, 池沼, 湧水, 運河, 海)
- ・緑被分布

4.1.3 生物の現況

- ・生物相の概況
- ・保全すべき種
- ・外来生物

4.1.4 エコロジカルネットワーク

- ・コアエリア・ステップストーン など
- ・エコロジカルネットワークの現状

4.2 社会的状況

4.2.1 法規制及び関連計画等

4.2.2 暮らし・経済

- ・港区の暮らし・経済の状況
- ・衣食住、エネルギー、ごみ、循環系等の現状
- ・港区における企業等による取組状況

4.2.3 港区の自然と人とのかかわりの歴史と文化・景観

- ・生物多様性と歴史・文化・景観
- ・区民の声(昔の風景・思い出の風景など)

4.3 各主体の生物多様性に関わる意識と取組

4.3.1 アンケート・意見交換会・PRイベントの実施状況

4.3.2 住民意識と要望

4.4 生物多様性の評価

4.4.1 港区の生物生育生息環境

- ・環境タイプ
- ・指標種等

4.4.2 エコロジカルネットワーク構想

- ・生態的に重要な場所
- ・エコロジカルネットワーク構想

5 課題(仮)

5.1 保全に関わること

- ・重要な拠点の保全の方向性
- ・既存緑地の保全・再生
- ・創出の方向性と考え方

5.2 生物多様性を脅かす圧力の減少

- ・外来生物の考え方と取組方針の整理
- ・緑化資材等の取り扱いについて(遺伝的観点から)

5.3 暮らし・経済に関わること

- ・暮らしの中での課題(省エネ・省CO₂, 費活動)
- ・企業活動における課題

5.4 普及啓発を進めるにあたっての課題

- ・区が取り組むべき課題
- ・教育関係者がもつ課題
- ・区民がもつ課題
- ・企業がもつ課題

5.5 総合的な取組を進めるにあたっての課題

- ・しくみの整備

6 基本理念と計画目標

6.1 基本理念と将来像

6.2 計画目標

6.3 基本方針

- ・エコロジカルネットワークの維持と構築
- ・普及啓発の推進
- ・情報発信・情報交換が支える協働の取り組み
- ・保全・再生

6.4 行動戦略と施策展開の全体像

7 行動計画

7.1 保全・再生・創出

7.2 持続可能な利用の取組

7.3 教育・普及啓発

7.4 取組を支える基盤整備(しくみ)

8 推進体制と進行管理

8.1 推進体制

- ・(仮称)区民会議(区民・事業者等との連携体制)
- ・国や都、周辺地域との連携

8.2 進行管理

- ・数値目標など

9 資料編

9.1 計画策定の経緯

9.2 推進協議会

9.3 アンケート結果

9.4 シンポジウム概要

9.5 意見交換会の概要

9.6 ホームページの利用状況

9.7 ピアールイベント実施概要